

序	平島 亘	
展望 特許とビジネス	高柳 昌生	1
研究会メッセージ	寺野 稔	4
第1部 産業・技術論		
美しいデザインの技と理	永井 由佳里	6
ポリオレフィンの需給動向レビュー	郷 茂夫	10
フォーミュラ方式の再構築が模索される 背景と競争政策上の課題	小柳津 英知	19
市町村の科学技術政策	小林 俊哉、永田 晃也	26
小論の広場(1) リサーチ・アドミニストレーターのお仕事	阿部 紀里子	32
第2部 環境と循環		
シンジオタクチックポリプロピレン/ セルロース複合材料の開発	中谷 久之	34
バイオマスナノファイバー BiNFis (ビンフィス)の特長と応用	近藤 兼司	37
ケナフ繊維強化プラスチックの 熱伝導特性に関する研究	黒田 真一	42
第3部 重合触媒		
オレフィン重合・二量化のための 高性能バナジウム錯体触媒	野村 琴広	48
複核ニッケル・パラジウム錯体触媒による エチレン重合・共重合	竹内 大介、 小坂田 耕太郎	53
新規含ホウ素アルミニウム錯体の合成と オレフィン重合触媒としての応用	田中 亮、廣瀬 貴彰、 中山 祐正、塩野 毅	59
ストップフロー法を用いた Ziegler-Natta オレフィン重合：最近の進展	谷池 俊明、寺野 稔	63
オレフィン重合触媒におけるリガンドの役割	志賀 昭信	68

第4部	精密分析・キャラクタリゼーション		
	ケミルミネッセンス法によるポリオレフィンの酸化劣化評価—最新昇温測定の実用例について—	山田 理恵、佐藤 哲	74
	ラマン分光から見た高密度ポリエチレンの構造変化	比江嶋 祐介、木田 拓充、 新田 晃平	77
	プラスチック、ゴム製品のバイオベース度測定法のISO国際標準規格化	国岡 正雄	81
第5部	新材料と物性改質		
	低温冷却によって作製したイソタクチックポリプロピレン (iPP) ゲル	大越 隆介、堀田 篤	86
	ポリシラン添加 PP 材料の熱融着特性に関する研究	徳満 勝久	92
	環境負荷低減に寄与するエラストマーの開発	高橋 俊、黒川 良介、 夏山 延博	97
	ポリプロピレン/グラフト SiO ₂ ナノコンポジットにおけるグラフト鎖が結晶化挙動に及ぼす影響	福山 芳三、河井 貴彦、 黒田 真一、豊永 匡仁、 谷池 俊明、寺野 稔	101
	架橋反応によるポリエチレン溶融体のレオロジー変化	山口 政之	108
	フィラー用アルミナの開発	石井 敦	112
小論の広場(2)	～F ₂ ～	石田 喜章	114
第6部	成形加工とアプリケーション		
	最適な添加剤処方によるポリプロピレン樹脂の高機能化—自動車用材料を中心に—	石川 慎一、堀越 隆裕、 川本 尚史	116
	フィルム成形工程の粘弾性流動解析	大槻 安彦	121
	今後のプラスチック成形に対する私案	五十嵐 敏郎	125
第7部	統計と調査		
	ポリオレフィン関連統計まとめ(今回休み)	郷 茂夫	134
編集後記		寺野、谷池、郷	135
運営委員名簿		編集部	136